

令和元年度 大阪府立河南高等学校 第1回学校運営協議会 報告

日 時	令和元年 5月 16日 (木)	15:00~16:30
場 所	本校校長室	

1 校長挨拶

2 協議会委員、事務局教職員の紹介

協議会委員

吉川 測雄 (杉田学園副学園長・大阪学院大学講師)

島 善信 (前 大阪教育大学教職教育研究センター 特任教授)

石田 利伸 (富田林市立第二中学校 校長)

岡澤 潤次 (前 関西外国語大学 教授)

恵島 明 (株式会社「えじま」会長)

原下久美子 (PTA会長)

事務局教職員

仲内 一雄 (教頭) 寺田 由香 (事務長) 東 文義 (首席) 竹田 央 (首席)

3 協議会設置要項及び運営計画について

4 議事

(1) 今年度 学校経営計画について (◎印：委員、○印：学校)

① 幹の太い生徒の育成

◎「学校生活に満足している」については、80%でも高いと捉えている。数値をより高くするには、学校になじめない生徒に対してどうかかわれるかが大切。

② 確かな学力の育成

◎「学校経営計画及び学校計画」は評価指標を含めて公表しますか。

○ HP上で公表します。

◎ 数値については、堅実な値であり了承します。

◎ 協同的で行く場合は、河南高校のめざすところを明確にしてもいいのではないか。

○ 中学生から評価される「学習・クラブ・行事」について、うまく達成できている。

現在は、高大接続における転換期で、この流れに上手く乗っていきたい。

◎ 学習面において、授業外での学習時間 30分以上を 70%以上にするために、宿題や課題等をきちんと出すように考えてほしい。

③ 特色づくりの推進による学校力の向上

◎ 働き方改革の一環から、授業をはじめとして様々な業務に支障が出ませんか。

○ スクラップ&ビルドを念頭に、業務の平準化も合わせて見直しを行いたい。

(2) 現状報告と質疑応答並びに学校への提言 (◎印：委員、○印：学校)

① 入学者の状況、年間行事等 (倉原教務部長)

○ 今年度も志願者数は定員を大きく上回った。旧7地区は中学生の減少率がトップ。これから危機感を持って臨んでいかなければならない。

◎ 富田林市内の8中学でも7校が学級減の状態。また、授業料無償化の影響により、私立高校への志向も強い。

○ 人気はあるが、生徒確保のため、さらに魅力ある学校になるよう日々努力をしていく必要があると考えている。

◎ カリキュラムの改訂により、授業内容やスタイルで河南の特徴を出す必要がある。

② 卒業生の進路状況等 (東進路指導主事)

◎ eコースの生徒数が減少している。進路部としてどのように取り組んでいくのか。

○ eコースの雰囲気や授業における取組みなど、進学面でのメリットをしっかりと伝え、希望者が増えるように努めたい。

③ クラブ加入状況について (田仲特活主担)

○ クラブ加入率は例年と変わらず約90%。文化部が40%弱、運動部が50%強。

この後、ペナント ⇒ 体育大会 ⇒ 河南フェスへと行事が続いていく。

○ その他、通学路の清掃や赤い羽根募金などを行っている。

④ その他、委員より学校に対する感想

◎ きらめき創造館には富高生だけでなく、最近は勉強に来る河南生も増えている。

◎ 校長先生が着任されてから様々な取組みをされていることに驚きました。

5 校長謝辞